

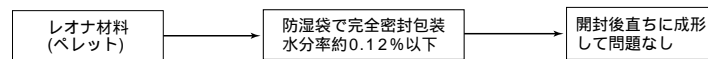
ポリアミド樹脂 **レオナ**® — レオナの射出成形技術
LEONA

11-4 レオナ材料の取扱い

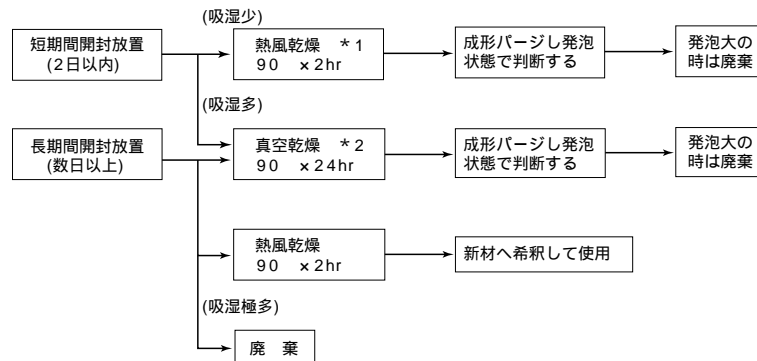
(1) レオナペレットの乾燥

レオナは密封包装してありますので、開封後直ちに成形する場合は乾燥は不要です。しかし、他のポリアミド樹脂と同様に吸湿しますので、開封後時間がたちますと(環境条件によって異なりますが、20、65%RHでは3時間位を目安して下さい)ペレットが吸水して、そのまま成形しますとシルバーストリークが発生する等のトラブルが生ずることがあります。これを防ぐためには、ゴムパッキン等で密封のできる金属容器に移して保管するか、あるいは成形前に予備乾燥を行って下さい。(熱風乾燥の場合、80 × 3時間程度、又は90 × 2時間程度)。以下に材料の使用区分けを示します。

1) 新材



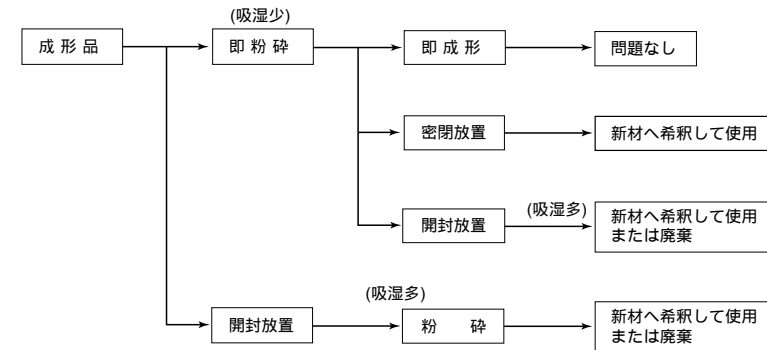
2) 開封材 (図-62 ~ 63参照)



3) 再生材

スプルー・ランナー等の再生材は直ちに粉碎し、当日又は翌日には使用するようして下さい。但し、再生材の混入比率については、UL746-Dに25%以下でなければならないという規定がありますのでご留意下さい。

直ぐに使用しない時は、密封して保存して下さい。



再生材の粉碎粒形は大きい粉砕物があると、可塑化不安定になり、いろいろな成形トラブルの原因になりますので、バージンペレットのサイズにして下さい。

(註) *1 3hr以上乾燥すると変化(黄褐色)することがあります。

*2 変色はほとんど起こりません。

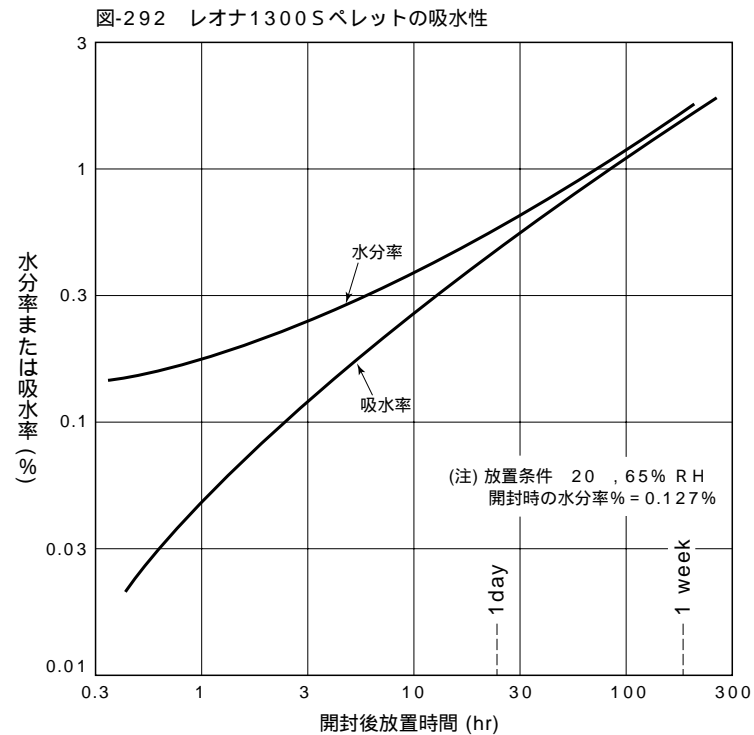


図-293 水分率と乾燥時間 (1300S)

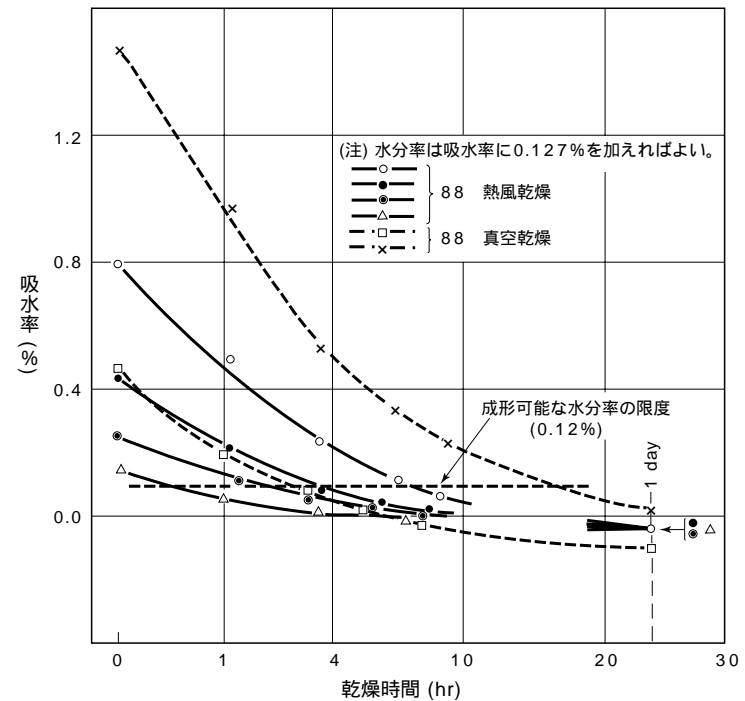
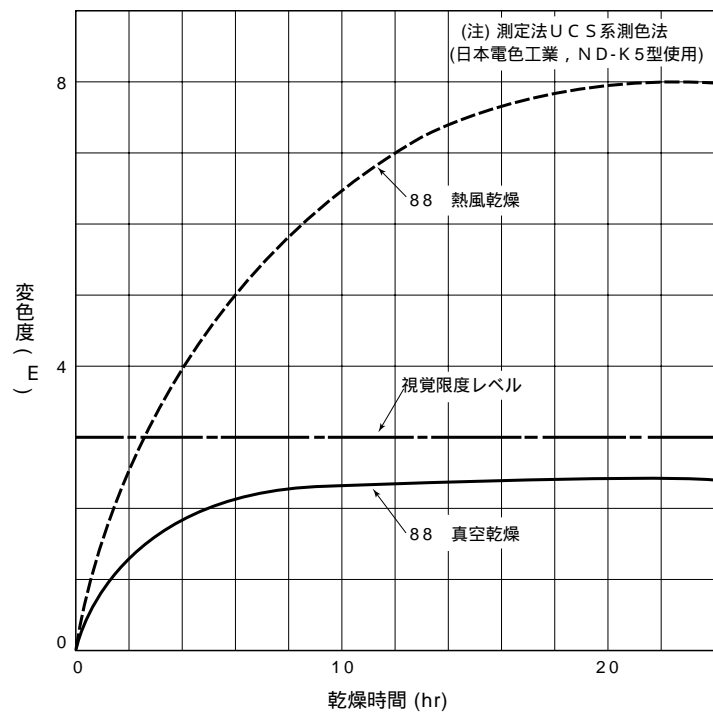


図-294 変色度 E と乾燥条件



(2) レオナペレットの保管方法

- 1) ポリエチレンの袋 (約100 μ 厚) を2重にして内袋、外袋共に紐縛りでシールする。この方法で10日間保管しても、吸水率は0.02%程度です。
- 2) フィルム用加熱シーラーで、レオナの袋をシールする。これはレオナの包装と同じになるので何日でも保管できます。
- 3) 開封後の包装袋の切口を折り曲げて塩ビパイプ (中割) でクリップする。夏場は効果が少ないと思われます。
- 4) 開封後の包装袋の切口をガムテープで密封する。夏場は効果が少ないと思われます。

(3) 水分率による流動性の変化

レオナは吸水することで、粘度と流動性が変化します。

図-295 成形前ペレット水分率と流動性の変化

